

信号変換器・本質安全防爆バリヤ

信号には、確実な信頼性が必要とされます。

Pepperl+Fuchs からご提供する信号変換器および本質安全防爆バリヤ、K-シリーズは、取り付けやすさ、使いやすさを考慮したスマートなデザインとともに、様々な信号の種類に対応した製品をご用意しています。石油化学、天然ガス、洋上プラント等、世界のプラントの安全を担い、制御盤の中で、鮮やかなグリーンのP+P製品が活躍しています。

近接センサ、パルス、LED、警報器用
流量計、圧力計、温度計等 計測機器用
トランシミッタ用、振動計用

CEマーク、SIL2またはSIL3対応

より詳しい情報は、こちらのホームページをご覧下さい。 www.pepperl-fuchs.jp株式会社 ピーアンドエフ
〒226-0006 横浜市緑区白山1-18-2
ジャーマンインダストリーパーク303
TEL:045-939-7802 FAX:045-939-7804
E-mail:pa-info@jp.pepperl-fuchs.com

計測展2013 TOKYO 出展

会期: 2013年11月6日(水)~8日(金)
10:00~17:00
会場: 東京ビッグサイト C-06(西2ホール)PEPPERL+FUCHS
PROTECTING YOUR PROCESS水面の油をいち早く検知
油の混入を早期発見!

TOADKK

排水監視

取水監視

油膜検知器 ODL-1600

レーザー光線を水面に当て、油と水の反射率の
違いから油膜を検知します。

さまざまな設置条件に対応した機種をご用意しております

ODL-1610A

10mまでの検知が
可能な長距離対応型

SODL-1600

堅牢なアルミ耐圧防爆型

OF-1600

LED光採用の小型軽量タイプ

東亜ディーケーケーブース No.M-50(東京ビッグサイト 西2ホール)でお待ちしております。

おかげさまで、10月31日に東証第一部銘柄に指定されました。
東亜ディーケーケー株式会社ホームページ <http://www.toadkk.co.jp/>本社: 〒169-8648 東京都新宿区高田馬場1-29-10 TEL.03(3202)0218
●東京: 03(3202)0226 ●大阪: 06(6312)5100 ●札幌: 011(726)9859 ●仙台: 022(723)5734 ●筑波: 029(857)4091
●千葉: 0436(23)7531 ●神奈川: 045(222)1361 ●静岡: 054(236)0106 ●名古屋: 052(324)6335 ●岡山: 086(423)5181
●広島: 082(297)7370 ●山口: 0834(27)2707 ●四国: 087(831)3450 ●九州: 093(551)2727 ●長崎: 095(865)0921

計測展2013 TOKYO 見どころ 聞きどころ

JEMIMA委員会セミナー

NO.	時間	講演テーマ	講師	会場
6日	14:30 ~ 17:00	EUに始まり世界に広がる、 計測・制御機器を取り巻く 環境運規制	【環境クリーン委員会】 株式会社堀場製作所/「ラバーレ」鞋在 中井 章仁 氏 他2人	101 議事室
	15:00 ~ 16:30	インバータモータの測定方法に関する 標準化の動向(可変速駆動システム(PDS) の効率算定に関する国際標準化活動)	【電子測定委員会】 岩通計測株式会社 長浜 竜 氏 他5人	102 会議室
	16:30 ~ 17:00	テラヘルツ電磁波による 安全・安心社会の実現	【戦略的基礎技術検討委員会】 大阪大学 レーザーエネルギー学 研究センター 教授 萩原 正憲 氏	セミナー 会場B
7日	10:30 ~ 12:30	広がる校正サービス2013 ~JCSS創設20周年とこれから20年~	【校正事業推進委員会】 経済産業省 産業技術環境局 知的財産課 委員長補佐 田代 直人 氏 他3人	102 会議室
	13:00 ~ 15:00	1.工業用無線の電波伝搬と共存管理 2.機能安全の考え方とその適用	【PA-FA計測制御委員会】 1.工業用無線技術調査・研究WG 2.機能安全調査研究WG	102 会議室
	15:30 ~ 16:45	モノづくりからみた社会における エネルギーの最適実現	【エネルギー・低炭素政策委員会】 アスピル株式会社 高山 仁 氏 他2人	102 会議室
8日	14:00 ~ 15:30	放射線測定器サーベイメータの 正しい選定	【放射線測定委員会】 東北大學 中村 尚司 氏 他3人	102 会議室

今年の基調講演は6日11時から、「ママツの野路」にてモノづくりを競争力をつける現場をめの提言が行われる。中国をはじめとする成長市場や新興国で技術開発などで日本が製造で生き残っていくための提言が行われる。

国代表取締役会長による「ものづくりの現場から」の提言、コマツの強みを活かした成長戦略。中国をはじめとする成長市場や新興国で競争力をつける現場をめの提言が行われる。

講演は内閣府総合科学技術会議の久間和生常勤議員による「日本の科学技術の進歩」と、産業連携へのメッセージ。

講